

テーマ：『 一人ひとりが主体的に考え、互いに関わり合う学びの創造 』

相模原市立 弥栄小学校

Tel. 042-755-3119

担当者： 佐藤 俊子



■実践内容：

友だちと関わり合いながら主体的に考え学んでいく姿勢を身につけさせるために、特に理科では、小グループの活動と全体の話し合いの2つの場を設定するようにした。小グループでは、全体で立てたいいくつかの仮説を元に、観察や実験の結果と照らし合わせながら気がついたことを話し合わせた。また学習の対象にふれる時間を多く設定し、見たことや聞いたことを目に見える形で蓄積していくようにした。

更に環境に関する学習では学年の系統を大切にしながら、総合的に学ばせるようにした。

■実践成果：

- ・仮説をしっかり持ち、目的を意識して学習を進めることで小グループでは多くの児童が考えを持ち、話し合うことができるようになった。対象にふれる時間の設定と学習内容の蓄積により問題を発見し生まれた問題を主体的に追求していく姿勢が身についてきた。
- ・研究の過程で環境の大切さに気づき始めた児童の思いを大切にし、「省エネ」や「温暖化」等に関する出前授業を多く取り入れ、実践することができた。他の人々の思いに触れることにより、キャリア教育の実践につなげることができたのは大きな成果であった。
- ・児童を取り巻く環境の整備として、学年花壇や学校花壇に花をたくさん植え、植物を慈しむ心の育成をはかった。また種の収穫により命がつながっていくことを栽培の作業の過程で学ぶことができた。
- ・環境を大切にする観点の中で、世界の仲間を助ける力になろうという考えから、「エコキャップ」の収集という行動につなげることができた。

■実践ポイント：

- ・教科の教材開発にも努めたが、まだまだ実践途中である。これからも、児童の理解が高まるような教材の開発工夫に努める。
- ・学習を通して児童の視野を広げ、自分達の小さな力が、世界につながっていく大切さを認識させていく。